

令和5年度 第1回 名西高等学校 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和5年6月16日（金）午後2時から午後3時30分まで

2 場 所 名西高等学校 会議室

3 参加者

河崎会長、西岡委員、手束委員、久米委員、安達委員、向井副会長、平田教頭、前田教頭、竹田教頭、新居総務課長、向井境芸術科長、佐藤教務課長

4 内 容

(1) 任命

(2) 役員改選

会長として河崎藤花同窓会長、副会長として向井学校長が承認された。

(3) 協議

ア 学校経営方針・名西高校の現状について

向井学校長より次の項目について説明、承認された。

① 本校の教育方針、スクールミッション・スクールポリシーについて

② 本年度の重点的取組について

・普通科の魅力化

生徒の主体的な学びを進める個別指導の徹底

「自分で考え、自分の意見を持ち、自分の言葉で表現できる生徒の育成」

・芸術科の魅力発信

中学校の進路担当、芸術科教員向け説明会の実施

・定時制での社会的自立への取組み

③ 文化芸術リーディングハイスクールについて

④ 特色ある取組について

⑤ 地域連携の取組について

⑥ 定時制の取組について

イ 教育課程の編成について

佐藤教務課長・竹田教頭により説明、承認された。

ウ 学校評価総括評価票における評価項目、評価指標等について

平田教頭・竹田教頭により説明、承認された。

エ 令和4年度の受賞歴等について

平田教頭・竹田教頭により説明された。

オ 委員からの提言

- 藤波タイムでのエシカル消費に関する講座については、回数を重ねていることから、内容や講師陣について再検討してみてもどうか。またその際に、生徒の意見も聞いた上ですすめるのが良いのではないか。
- 企業経営の視点から、強みを生かしていくことは重要であると考え。名西高校ならではの強みとして、普通科では、人数が少ない分一人一人に目が行き届くという点が挙げられる。特定の教科・科目に強い生徒やある分野に興味関心が強い生徒などに対し、様々な資格取得などへチャレンジさせるなど、向上心のある生徒の支援に力を注ぐと良いのではないか。
- 与えられたことをこなしていくという受け身の子供が多い中、「自分で見つけていく」というのは良いことである。社会の中に飛び込んで、自分がどのようなことに向いているのかを発見するような機会を作ってはどうか。
- 主体性、多様性を大切にするという方針がよく理解できた。校則の見直しについて議論するという話があったが、制服についても、男子の制服にも女子のような選択肢があってもよいのではないか。
- 対応すべき課題が増えている中、教職員のメンタル面も心配である。業務について今やっていることの整理を行い、不要なものを削減していくことが必要である。
- 生徒が地域・社会と接するための機会を提供するために、できることがあれば協力させていただきたい。(多数委員)